だれでも認め合い　みんなで育ち合う　笑顔あふれる学校

# いしわら

石原小
ホームページ

１１月号

令和８年１０月３０日
調布市立石原小学校
校長　飯島　慶裕

http://www.chofu-schools.jp/isiwara-sho/

## 和顔愛語（わげんあいご）

校長　飯島　慶裕

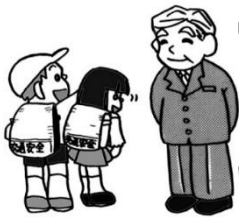
１７日（土）、好天に恵まれて運動会を行うことができました。１０月でしたが、日差しの強い中、多くの保護者の皆様に御覧いただくことができました。ありがとうございました。今年度の運動会は、学年ごとの入替制を廃止し、保護者の皆様全員がリボンを着用の上、終日自由に観覧、応援いただけるようにいたしました。皆様の御協力のおかげで、大きな混乱もなく終えることができましたことに感謝申し上げます。子供たちも、保護者の方々や地域の皆様の御声援で、いつも以上の力が発揮できたようでした。

さて、東京都教育委員会は、毎年６月・１１月・２月を「ふれあい月間」と定め、いじめや不登校、暴力などの問題行動を未然に防止し、子供たちの健全育成を目指して重点的に取組を行っています。この取組は、平成１２年１１月から「トライ＆チャレンジふれあい月間」という名称で始まり、都内の児童・生徒の奉仕活動や自然体験・社会体験等の体験活動の充実と活性化を目指しました。平成２５年９月に、国が「いじめ防止対策推進法」を施行したのをきっかけに、平成２６年度から「いじめ根絶・子どものサインを見逃さないための総点検」へと変更し、「ふれあい月間」という名称に変わりました。

ふれあい月間と限らず、日頃から適切に周りの人とコミュニケーションをとることは、人間関係を円滑にするためにとても大切なことです。その「コミュニケーション」の基本は、「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」等の挨拶、感謝の言葉「ありがとう」、謝罪の言葉「ごめんなさい」をしっかり相手に伝えることだと考えます。自分が気持ちよく挨拶すれば相手も気持ちがよくなり、言葉も心も通じ合います。特に、「ありがとう」や「ごめんなさい」を日常的に使うことは、信頼関係を築くことができるだけでなく、自らを成長させることにもつながります。一人一人を尊重する心を育てるために、挨拶や感謝等を言葉で表すことが必要です。子供は他の人の真似をして学びますので、子供にだけ強制をするのではなく、家庭や学校、地域のみんなで手本を示していきましょう。

もう一つ大切なことは、穏やかな笑顔と思いやりのある話し方で人に接する「和顔愛語」ではないかと思います。穏やかな表情であれば、子供たちは安心する気持ちになり、優しい言葉をかけてもらえれば嬉しくなり、やる気も出ます。「言葉には力がある」と言われます。人を勇気付けることも、支えることも、傷つけることもできます。同じように表情にも、人の心を和やかにすることも不快にすることもできます。だからこそ、やさしい表情で人と接し、言葉を選んで大切に使うことが重要です。それを続けていくことで、信頼を紡いでいくことができるようになります。

この「和顔愛語」の言葉には「先意承問」という言葉が続きます。「相手の気持ちを先に察して、相手のために何ができるかを考えて、自ら進んで、手を差し伸べていく」という意味です。学校の教職員や保護者の皆様、地域の皆様が、笑顔を忘れず、言葉を大切にしながら子供たちに寄り添い、一緒に取り組んでいくことで、子供たちが健やかに育つ石原小学校でありたいと願っています。



## 登校時間と連絡のお願い

本校の登校時間は、８時１５分から２０分までです。８時３０分から朝学習や朝会などを行い、学級の出欠確認も行います。

８時３０分になってもお子さんの登校が確認できない場合は、保護者に連絡をし、所在の確認を行います。お子さんの安全確認のためにも、御家庭での御協力をお願いします。また、遅刻や欠席をする場合は、８時３０分までに欠席連絡メールにてお知らせください。

なお、遅刻して登校する場合は、お子さんの安全確保のため、保護者が付き添って登校していただきますようお願いします。

## 妊娠出産についてのお知らせ

図工専科　星野 綾乃（ほしの あやの） 教諭の妊娠出産休暇にともない、１１月５日（木）より、吉谷誉（よしがいほまれ）教諭が図工専科として着任いたします。

引き続き、児童が安心・安全で楽しく学習に取り組めますよう、教職員一同努力してまいります。変わらぬ御理解・御協力をいただきますようよろしくお願いします。